

1 3 環境保全活動関係データ

■概 要

府民・事業者・民間団体や学識経験者、府、市町村等からなる「豊かな環境づくり大阪府民会議」において、「豊かな環境づくり大阪行動計画」を策定し、パートナーシップによる各主体の自主的な環境問題への取組みを進めています。

また、府、大阪市、堺市、国の機関、自動車関連の民間団体等からなる「大阪自動車環境対策推進会議」を運営し、エコカーやエコドライブに関する普及啓発活動や事業活動での環境に配慮した自動車利用を促進する「おおさか交通エコチャレンジ推進運動」を実施しています。

さらに、環境影響評価法及び環境影響評価条例に基づき、環境影響評価準備書の審査や事後調査計画書及び報告書の縦覧等を実施しています。

1 3 - 1 豊かな環境づくり大阪府民会議の開催状況

(令和5年度)

開催年月日	議 題
運営委員会 令和5年3月8日	(1) 令和5年度の取組報告について (2) 府民会議事業の今後の方向性について (3) 豊かな環境づくり大阪行動計画について (4) 令和6年度の取組みについて

1 3 - 2 大阪自動車環境対策推進会議の活動状況

(令和4年度)

活動内容	概 要
自動車利用に関する 環境配慮の推進	・「おおさか交通エコチャレンジ推進運動」の実施 ・「おおさか交通エコチャレンジ宣言事業者」の登録 ・エコドライブシミュレーター等の貸出 ・環境イベントへの出展 ・表彰制度への応募支援 ・ポスター、リーフレット、ステッカーの配布 ・エコドライブ講習会の開催
構成機関の取組みの推進	・構成機関の取組みのホームページでの紹介
情報発信	・自動車環境対策の取組み等のホームページでの情報発信 ・自動車環境メールマガジンの配信

13-3 大阪府環境保全基金活用事業一覧

(令和5年度)

事業名	事業概要
環境配慮消費行動促進に向けた脱炭素ポイント付与制度普及事業	府民の脱炭素への意識改革・行動変容を図るため、小売事業者等が現在運用しているポイントシステムを活用して、生産・流通・使用等のライフサイクルの各過程におけるCO ₂ 排出が少ない商品・サービスを購入した消費者に対して脱炭素ポイントを上乘せ付与し、脱炭素に資する商品・サービスの選択を促進し、商品選択の促進効果やCO ₂ 削減効果等に関する検証を実施しました。
万博を契機とした環境・エネルギー先進技術普及事業	環境・エネルギー先進技術の普及を促進するため、来阪来場者にPRLしやすい民間施設等に先進技術を導入してCO ₂ 削減効果等を発信するモデル事業を補助事業として採択し、先進技術が普及した未来社会の姿を見せる動画等のコンテンツを作成しました。
サプライチェーン全体のCO ₂ 排出量見える化モデル事業	万博会場等での利用が想定される品目を取り扱う事業者を対象に公募を行い、4事業者15製品においてサプライチェーン全体での排出量の見える化や削減のための改善策の提案をモデル的に実施しました。
脱炭素経営宣言促進事業	脱炭素化を促進するセミナーの開催を通じて脱炭素経営宣言登録制度の周知を行うとともに、商工会議所や地域の金融機関等の関係機関と連携して、事業者への働きかけを実施しました。 脱炭素経営宣言を行った事業者には「脱炭素経営宣言登録証」を発行するとともに府HP等により広くPRするとともに、排出量の見える化や補助金案内などの各種支援を行いました。
省エネ・再エネ設備の導入モデル事例の普及啓発事業	令和4年度「中小事業者の脱炭素化促進補助金」の交付を受けて設備導入を行った中小事業者に対し、脱炭素化に取り組むこととなった経緯や、取組内容、設備更新等の効果(CO ₂ 削減率、経費削減効果)などについて調査・取材を行い、収集した取組事例をとりまとめて、府HPコンテンツ及びリーフレットを作成し、府内中小事業者に広く発信しました。
カーボンニュートラル技術開発・実証事業	2025年大阪・関西万博でのカーボンニュートラルに資する最先端技術の披露を目指し、試作設計や開発・実証を行う事業13件を採択し、必要な経費の一部を補助しました。
脱炭素化に向けた消費行動促進事業	大阪産農産物のカーボンフットプリントを算定・表示する方法を3回の有識者検討会議を踏まえて検討し、算定方法の確立と表示ラベルの作成を行いました。 算定可能品目を農産物23品目まで拡充し、加工品1品目の算定・表示も実施しました。 8つのイベントに出展し、チラシやパネル等を用いて周知啓発も実施しました。
地球温暖化防止活動推進員機能強化事業	地球温暖化防止活動推進員の地域での主体的な啓発活動を推進するとともに、環境に関心の低い府民に対しても効果的な啓発を実施できるよう、情報伝達の方法や手段を活用できる人材を獲得、育成するため、リフォーム、家電、金融の各事業活動分野において、養成講座を実施しました。

事業名	事業概要
おおさか気候変動適応・普及強化事業	適応策の最新知見をまとめた、「おおさか気候変動『適応』ハンドブック改訂版」を発行しました。 子どもに関わる教育・保育関係者や高齢者に関わる福祉関係者、民生委員等を対象とした暑さ対策のセミナーを実施開催しました。 激甚化する災害について、要配慮者利用施設の職員等を対象とした防災セミナーを開催しました。 府民に身近な行政機関である市町村環境部局等の職員を対象とした、地域の気候変動適応策を推進するためのセミナーやワークショップを実施開催しました。
暑さから身を守る3つの習慣・普及促進事業	暑さによる危険を把握し、必要な行動を取ることができるよう、環境省が提供する『暑さ指数情報メール』の登録や熱中症警戒アラート等を周知しました。 暑さから身を守る3つの習慣を府民に普及するため、猛暑啓発資料(暑さ対策チラシ)を作成し、各部局を通じて府内の学校等にデータで配布し、紙チラシをイベントや市町村経由で配布しました。 猛暑の際に外出先で暑さをしのげる涼しい空間(クールオアシス)について、民間事業者(金融機関・薬局等)と連携して普及に取組み、府民の利用促進を図りました。 企業協賛を得て暑さ対策の取組促進に資する啓発物品(塩分タブレット、使い捨てタオル)を活用し各種環境イベント等で府民に周知しました。”
環境学習における省エネ等行動変容促進ツール開発事業	学校や家庭での省エネ等の行動変容のさらなる促進を図るため、理科、社会、家庭科及び総合的な学習の時間等の各教科における環境に関する項目から省エネ等行動変容につなげることのできる学習ツールや指導者向けの活用の手引きを作成しました。
家庭や企業の省エネルギー行動推進事業	温暖化問題の意識向上のため、地球温暖化防止活動推進員への支援や環境配慮行動の普及・啓発を実施しました。
大阪産(もん)を活用した脱炭素化推進事業	府域で大阪産(もん)の消費拡大と脱炭素社会の実現をめざすため、地産地消、脱炭素消費行動、プラごみ削減等の一体的な啓発イベントを集客力の高い場所で実施しました。 (場所:グランフロント大阪 うめきた広場 メインスペース 等 / 天王寺公園エントランスエリア「てんしば」)
乗車体験等を通じたゼロエミッション車普及促進事業	カーシェアを通じて、ゼロエミッション車(ZEV)の乗車体験機会を府民に提供しました。 また、自動車販売事業者(ディーラー)と連携して非常時にも役立つZEVの給電機能等の体験キャンペーンを一斉に実施しました。

事業名	事業概要
食品ロス削減行動推進事業	食品ロス削減に取り組む府民の割合を増やすため、購買行動の変容に繋がる効果的な啓発手法や、食品ロス削減手法を地域で総合的に実践するモデル事業を通じた幅広い府民への啓発等を実施しました。
使い捨てプラスチックごみ対策推進事業	マイ容器等が利用可能な店舗等を検索できる「Osakaほかさんマップ」を運用しました。 プラスチックごみ問題や日常生活における取組みについて理解を深める府民向けハンドブックや、子どもがゲーム感覚で楽しく学べる啓発資材を活用し、市町村と連携しながら、環境イベントやSNS等を通じて府民啓発を行いました。
リサイクル社会推進事業費	府民や事業者の3Rの取組を促進し、循環型社会を形成するため、おおさか3Rキャンペーンを実施しました。
おおさかプラスチックごみゼロ宣言推進事業	海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、有識者、事業者団体、NPO、市町村など幅広い関係者によるプラットフォームとその分科会において、テーマごとに具体的な対策の検討、実証事業の実施、効果検証等を行うとともに、効果的な取組みを広く共有・発信しました。 府、事業者、NPO、市町村等で構成する「おおさかマイボトルパートナーズ」の会議を開催し、マイボトルの利用啓発、マイボトルスポットの普及、効果的な情報発信の取組みについて意見交換を行いました。具体的な取組みを推進することで、マイボトル利用の機運を醸成しました。
生活騒音に係るリスクコミュニケーション促進事業	関係機関等へのヒアリングやアンケートにより生活騒音の実態把握を行い、学識経験者等で構成する検討会の助言を受けながら、生活騒音に関する基礎的事項と対応方法を取りまとめた「くらしの騒音ハンドブック」を作成しました。

事業名	事業概要
「豊かな大阪湾」保全・再生・創出活動推進事業	「エコツーリズム」と「体験型環境学習」の2テーマについて、大阪湾の新たな保全・再生・創出活動を実践する団体を公募してモデル事業を実施し、選定した団体の活動成果等を基に、活動のノウハウ集を作成・展開しました。
環境保全活動推進事業	府民・事業者・行政の連携強化や情報の交流を図りながら、各主体の自主的な環境保全行動を促進するため、「豊かな環境づくり大阪行動計画」等の普及、先進的で他の模範となる環境保全活動に対する補助金の交付、他の模範となるような環境の保全又は創造に資する活動に自主的に取り組んでいる個人、団体、事業者等の表彰を行いました。

1 3－4 大阪府みどりの基金事業の実績

(令和5年度)

みどりの基金事業
<市街地緑化の推進> ・みどりづくり推進事業(活動助成) ・みどりの創出事業(地域緑化推進事業)
<自然環境の保全> ・共生の森づくり事業
<普及啓発> ・生物多様性保全事業

13-5 手続きを実施した環境影響評価事案

事業名	法・条例区分	主な手続きの内容
大栄環境株式会社(仮称) 和泉エネルギープラザ整備事業	条例対象	方法書について事業者への知事意見を 申述
泉佐野市田尻町清掃施設組合 新ごみ処理施設整備事業	条例対象	方法書について事業者への知事意見を 申述
(仮称)阪南市西部丘陵地区 産業集積用地造成事業	条例対象	方法書について事業者への知事意見を 申述
南港発電所更新計画	法対象	計画段階環境配慮書について環境影響 評価審査会を実施
大阪港新島地区埋立事業及び 大阪沖埋立処分場建設事業	法対象	事後調査報告書の縦覧
淀川左岸線延伸部	法対象	事後調査報告書の縦覧
東部大阪都市計画ごみ焼却場 四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業	条例対象	事後調査報告書の縦覧